

みんなの“私らしく”を 応援するために

賛助会員 ご入会の手続き

1. 別紙の申込書に記入いただき、FAX または郵送してください。
HP からの申し込みもできます。

FAX : 075-205-5104

郵送先 : 〒602-8222 京都市上京区晴明町 811-3
岡部ビル 2F 認知症の人と家族の会

HP : www.alzheimer.or.jp

2. 同時に、郵便局または銀行で会費をお振込みください。

年会費 1口 10,000円から

2年目からは自動引落もご利用いただけます。

【郵便局】 口座番号 : 01050-3-47146
名義 : (社)「家族の会」

【銀行】 銀行名 : 京都信用金庫 西陣支店
口座番号 : 普通 0888566
加入者名 : 公益社団法人認知症の人と家族の会

公益社団法人
認知症の人と家族の会

〒602-8222 京都市上京区晴明町 811-3 岡部ビル 2F
TEL : 050-5358-6580 FAX : 075-205-5104

47都道府県の支部の連絡先など詳細はホームページをご覧ください

家族の会



公益社団法人
認知症の人と
家族の会

「おまえが忘れても、
俺たちがおぼえているよ」

「次に会う時みんなのこと
忘れていたらごめんね」と冗談まじりで言うと
「大丈夫、おまえが忘れても俺たちがおぼえているから」
と言ってくれました。

それまでみんなとの仲がきれてしまうのではと
心配していましたがすべて吹き飛びました。

これから多くの人の顔を忘れてしまうかもしれませんが、

でもみんなが私の事忘れないでいてくれる、

だから忘れたっていいじゃない、

そう思ってこれから生活していこうと思えるようになりました。

丹野智文（認知症当事者）

いつまでも“私らしく”いるために

賛助会員のご案内

みんなの“私らしく”を応援するために

「家族の会」の 賛助会員になりませんか

認知症の人と家族、専門職、ボランティアなどが力を合わせて「認知症になっても安心して暮らせる社会」をめざしている組織—それが「家族の会」です。

すでに施設、病院、企業、団体など、全国1,300を超える方々に賛助会員として支援していただいておりますが、ぜひあなた（企業・団体）のご支援をお願いします。

40年のあゆみ

認知症の人のために、家族のために、これからも



- 1980 90名の介護家族が「呆け老人をかかえる家族の会」を京都で結成。
- 1982 厚生大臣に初の要望書提出。
- 1994 厚生大臣より社団法人の認可を受ける。
- 2000 介護保険制度開始に合わせ、フリーダイヤル電話相談（0120-294-456）を開設。
- 2004 国際アルツハイマー病協会第20回国際会議・京都・2004を開催。世界から4,000人以上が参加。
- 2006 「認知症の人と家族の会」へ名称変更。
- 2010 公益社団法人に認定される。
- 2014 沖縄県に47番目支部誕生、全国に支部。
- 2017 国際アルツハイマー病協会第32回国際会議・京都・2017を開催。

多様な会員、さまざまな立場の人々が協力し合っています



ご支援をお願いします



公益社団法人認知症の人と家族の会・代表理事

鈴木 森夫（すずき もりお）

Profile 愛知県出身。大学卒業後、病院、高齢者施設でソーシャルワーカー、ケアマネジャーとして勤務する傍ら、1984年「家族の会」石川県支部の結成に事務局長として参画。その後、世話人として活動。2015年から理事となり、2017年、代表理事に就任。

2020年に結成40周年を迎えた「家族の会」は、医療や福祉など社会的な施策や制度も皆無の時代に、認知症の人への対応に疲労困憊していた家族や認知症に関心を持つ人によって、1980年に京都で誕生した組織です。以来、家族同士が交流し、励ましあい助けあうとともに、「認知症になっても安心して暮らせる社会」をめざして、全国的に活動をすすめてきました。また、2006年の「全国本人会議」で本人同士の交流会を契機に、認知症本人への支援もすすめてきました。これまでの歩みの中で、仲間の輪は全国に広がり、全都道府県に支部ができ、会員は11,000名になりました。各支部では、「つどい」「会報」「電話相談」を三本柱として活動

しています。また、「全国研究集会」を毎年開催、実態調査など調査研究活動も実施しています。国際交流活動では、1992年に国際アルツハイマー病協会（ADI）に加盟し、認知症の啓発活動に、毎年全国で取り組んでいます。

2025年には高齢化がもっと進み、認知症の人とその予備軍の人を含めると、862万人になると推計されています。国や自治体における施策の充実とともに、当事者組織としての「家族の会」の役割は、ますます大きくなっています。

各界の皆さまが、「家族の会」のことをご理解いただき、物心両面からのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

賛助会員？

「家族の会」の活動を支える会員です。全国で1231団体、77名の個人（2019年11月）が入会されています。

賛助会員になっていただくと Check!

年会費：1口10,000円から
入会方法：同封の入会申込書と年会費をお送りください

※詳しくは裏面「ご入会の手続き」をご覧ください。

月刊・会報を届けます!

認知症の人や家族の
声など情報満載です。

・介護保険の動向
・医療・介護
・国際情報 など



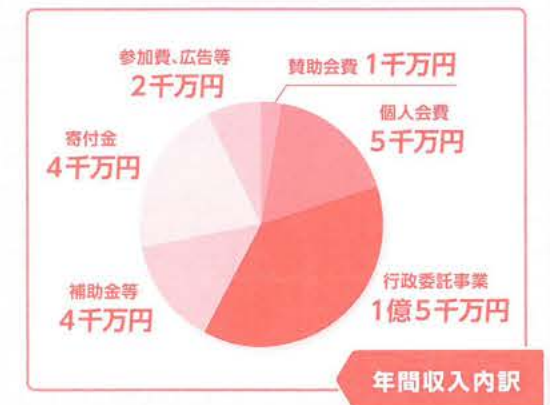
講演会、研修会の案内を届けます!

全国団体のメリットを活かし、幅広いイベントを開催。職員研修、勉強会にも最適です。

調査研究の結果を届けます!

当事者団体だからこそできる貴重な調査研究の結果をお届けします。（一部有料）

活動内容と予算（3億1千万円 2018年度）



年間活動経費

国際交流

国際アルツハイマー病協会（ADI／本部イギリス）に加盟。各国と交流しています。認知症は、日本だけでなく世界の人々の共通の悩みです。各国の課題を知り、世界規模で認知症を考えています。

調査、国際
1千万円

研究・研修

認知症の知識を得て、深めることは大切です。全国から関係者が集結する全国研究集会を1985年から毎年開催、医療・介護の研修講座も行っていきます。

研究・研修
4千万円

会報の発行

月刊の本部会報、支部会報を1回あたり計50,000部発行しています。体験記や最新の医学、制度の解説など幅広い情報を掲載。「私だけではない」と勇気が出る会報です。

管理費
5千万円

普及啓発
6千万円

啓発

認知症について広く社会に知ってもらうために、「世界アルツハイマーデー（毎年9月21日）」には、全国での啓発リーフレットの街頭配布や講演会の開催など、さまざまな活動を展開しています。

電話相談

全国対象のフリーダイヤルと、各支部での電話相談を実施（2018年度計21,000件）。支部によっては、行政の委託による「認知症コールセンター」も。経験豊富な相談員が具体的なアドバイスをしています。

相談支援
1億5千万円

本人のつどい、家族のつどい

全国で認知症の人や家族のつどいを行っています（4,237回のべ約57,000人が参加／2018年度）。直接会って悩みを話しあい、情報も得られ、元氣が出ます。